

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	国保運営協議会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	今野 忠光				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者	意図	国保事業の運営に関する重要事項についての市長諮問に対して審議し、その結果の意見を市長に答申する。
事業内容	委員の構成は、被保険者代表4名、保険医・保険薬剤師代表4名、公益代表4名、被保険者保険等代表1名の13名となっている。運営協議会を年3回から4回開催し、国民健康保険の重要事項について市長からの諮問に対し、審議を行い答申する。			
事業開始から現在までの状況変化	被保険者等の代表が国保事業に関与することで、それぞれの立場の利害を調整して事業運営を円滑に進めてきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	開催数	3	5	4	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	今年度は、県から提出を求められた国民健康保険事業財政健全化計画についての審議や事業計画、前年度決算、次年度当初予算の説明を行った。		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,343,200	1,451,640	1,277,920
事業費(b)(円)	244,800	377,720	223,200
うち一般財源	244,800	377,720	223,200
職員給与費(c)(円)	1,098,400	1,073,920	1,054,720
人役・職員(人)	0.16	0.16	0.16
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	広報紙や市ホームページなどを通して、国保運営協議会の開始状況や会議内容等の周知を行う。	③取組における課題(Check)	協議会の役割をわかりやすく伝えるとともに、委員に占める女性委員の割合を増やす。
②H30に実施した取組(Do)	会議の周知を行い、その結果をホームページに公表した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	委員の改選があるため、周知、公募を行う。